

- **有用性**：評価が、関連する情報の受け手に情報を提供し、受け手の研究に対して有益な影響がある報告書を作成し普及させる程度。

### プログラムの背景と説明

- **活動**：プログラムの一部として行われた、実際のイベントまたは行動。
- **インプット**：活動を無事に開始するためにプログラムに必要なリソース。
- **ロジックモデル**：プログラム運営のためにあなたが持つリソース、実行を計画する活動、および達成したいと望む変化または結果（すなわち、成果）の間の認識される関係を示す、系統的で視覚的な方法。
- **成果**：プログラムの運営または活動の結果；プログラムがもたらした影響（例えば、知識の増加、考え方や意見の変化、癌スクリーニングの増加、癌の有病率や死亡率の減少）。
- **アウトプット**：プログラム活動の直接的な成果；プログラムで遂行した当面の措置。
- **プログラム目標**：プログラムの全体的な使命または目的の表明。
- **リソース**：運営のために利用可能で見込まれる資源。プログラムの計画、実施、および評価に使われる人材、機器、施設などを含みます。

## 4. 検討をさらに進めるために

リソースカテゴリー	主要リソース
論文・書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Butterfoss, F. D. (2009). Evaluating partnerships to prevent and manage chronic disease. <i>Preventive Chronic Disease</i>, 6(2). 下記サイトより2009年6月30日に取得： <a href="http://www.cdc.gov/pcd/issues/2009/apr/08_0200.htm">http://www.cdc.gov/pcd/issues/2009/apr/08_0200.htm</a></li> <li>• Minkler, M., &amp; Wallerstein, N. (Eds.) (2008). <i>Community-based participatory research for health: From process to outcomes</i> (2nd edition). In Chapter 12: Issues in participatory evaluation (pp. 199–215). San Francisco, CA: Jossey-Bass (ISBN: 978-0-470-26043-2).</li> <li>• Patton, M. Q. (2001). <i>Qualitative research and evaluation methods</i> (3rd edition). Thousand Oaks, CA: Sage Publications.</li> <li>• Patton, M. Q. (2008). <i>Utilization-focused evaluation</i> (4th edition). Thousand Oaks, CA: Sage Publications.</li> <li>• Rossi, P. H., Lipsey, M. W., &amp; Freeman, H. E. (2004). <i>Evaluation: A systematic approach</i> (7th edition). Thousand Oaks, CA: Sage Publications.</li> </ul>
カンファレンス・講習	<ul style="list-style-type: none"> <li>• American Evaluation Association Conference: <a href="http://www.eval.org/">http://www.eval.org/</a></li> <li>• CDC Summer Evaluation Institute: <a href="http://www.eval.org/SummerInstitute09/default">http://www.eval.org/SummerInstitute09/default</a>.</li> <li>• The Evaluators' Institute: <a href="http://tei.gwu.edu/">http://tei.gwu.edu/</a></li> </ul>
ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Centers for Disease Control and Prevention: <a href="http://www.cdc.gov/">http://www.cdc.gov/</a></li> <li>• Community Tool Box, University of Kansas: <a href="http://ctb.ku.edu/">http://ctb.ku.edu/</a></li> <li>• W.K. Kellogg Foundation: <a href="http://www.wkcf.org/">http://www.wkcf.org/</a></li> </ul>

## 5. ツールキットの評価： 皆様からのご意見をお待ちしています。

包括的がん対策（Comprehensive Cancer Control, CCC）評価ツールキットは、ツールとテンプレートを使ったプログラム、計画、および協力関係の評価のための資料を利用者に提供するために作成されました。このツールキットを通じて、基本的な評価理論の概要と評価に関する実践的なアドバイス、そしてプログラム表の質を高めるための利用者に分かりやすいツールを提供できれば幸いです。

ツールキットの作成に際してはプログラム責任者の方々と共に取り組んできましたが、ツールキットの使いやすさと効果について、下記のいずれかの方法で皆様からも更にご意見をいただきたくお願いいたします。

1. プログラム・コンサルタントにお話し下さい。 第一段階として、担当のプログラム・コンサルタントを通じてご意見下さるようお願いいたします。資料を読み、ツールを使用してから数ヶ月の間に資料に対する反応を遠慮なくお話し下さい。私たちは次の点について知りたいと興味を持っています。
  - 利用者にとってこのツールキットは使いやすいですか？
  - 評価計画の改良または作成のため、あるいは評価について理解を深めるための資料としてなど、これまでに何らかの方法でツールキットを使用したことがありますか？
  - このツールキットは、評価理論を分かりやすい方法で示していますか？
  - このツールキットは、評価計画を作成し、評価活動を実施するための実用的なコツ、手段、およびツールを提供していますか？
2. 調査にご協力下さい。 がん予防対策部門（Division of Cancer Prevention and Control, DCPC）、包括的がん対策室（Comprehensive Cancer Control Branch, CCCB）は、このツールキットの使いやすさと質に関する包括的な評価を実施します。調査、重要情報提供者面接、またはフォーカスグループへの参加は、皆様や資金援助を受けているパートナーに頼ることになります。今後の評価への参加を歓迎しますが、これは義務ではありません。評価の結果を全ての利害関係者と共有することを補償します。DCPC-CCCBは、これらの提案を現在および／または将来の評価資料の向上に活用することをお約束します。

今後とも、皆様の見識とご意見をどうぞ宜しくお願いいたします。

## 6. 参考文献

Butterfoss, F. D. (2009). Evaluating partnerships to prevent and manage chronic disease. *Preventive Chronic Disease*, 6(2). 下記サイトより2009年6月30日に取得 :

[http://www.cdc.gov/pcd/issues/2009/apr/08\\_0200.htm](http://www.cdc.gov/pcd/issues/2009/apr/08_0200.htm)

Centers for Disease Control and Prevention. (1999). Framework for program evaluation in public health. Atlanta, GA: MMWR, 48(NoRR-11), 1–40.

Centers for Disease Control and Prevention. (2008). Fundamentals of evaluating partnerships. 下記サイトより2008年12月1日に取得 :

[http://www.cdc.gov/DHDSP/state\\_program/evaluation\\_guides/pdfs/Partnership\\_Guide.pdf](http://www.cdc.gov/DHDSP/state_program/evaluation_guides/pdfs/Partnership_Guide.pdf)

Centers for Disease Control and Prevention. (2009). A guide to developing a tuberculosis program evaluation plan. Division of Tuberculosis Elimination. National Center for HIV, STD, and TB Prevention. 下記サイトより2009年6月30日に取得 :

[http://www.cdc.gov/tb/programs/Evaluation/Guide/docs/Complete\\_guide\\_for\\_Developing\\_evaluation\\_plan.doc](http://www.cdc.gov/tb/programs/Evaluation/Guide/docs/Complete_guide_for_Developing_evaluation_plan.doc)

Minkler, M., & Wallerstein, N. (Eds.) (2008). Community-based participatory research for health: From process to outcomes (2nd edition). In Chapter 12: Issues in participatory evaluation (pp. 199–215). San Francisco, CA: Jossey-Bass.

Patton, M. Q. (1997). Utilization-focused evaluation: The new century text (3rd edition). Thousand Oaks, CA: Sage Publications.

Patton, M. Q. (2001). Qualitative research and evaluation methods (3rd edition). Thousand Oaks, CA: Sage Publications.

Patton, M. Q. (2008). Utilization-focused evaluation (4th edition). Thousand Oaks, CA: Sage Publications.

Rossi, P. H., Lipsey, M. W., & Freeman, H. E. (2004). Evaluation: A systematic approach (7th edition). Thousand Oaks, CA: Sage Publications.

U.S. Department of Health and Human Services, Centers for Disease Control and Prevention, Office of the Director, Office of Strategy and Innovation. (2005). Introduction to program evaluation for public health programs: A self-study guide. Atlanta, GA: Centers for Disease Control and Prevention.

Worthen, B. R., Sanders, J. R., & Fitzpatrick, J. L. (1997). Program evaluation: Alternative approaches and practical guidelines (2nd edition). New York, NY: Addison, Wesley Logman, Inc.

## 付録 A： 主要窓口とツールキットの作成について

このツールキットは、がんの予防・対策プログラムにおける評価活動の計画・実施方法の手引書です。

### ツールキットに関する質問やコメントの受付窓口は？

ツールキットの内容や使用に関してご質問があれば、電話または e メールで担当のプログラム・コンサルタントに連絡することができます。

ツールキットに関するご意見を、どうか担当プログラム・コンサルタントにお聞かせください。この資料改善のためのご意見やご提案をお待ちしています。

### このツールキットはどのように作成されたか？

このツールキットの作成にあたり、評価の専門支援が必要とされる領域を特定するために、私たちは資金提供を受けたプログラムの評価計画のレビューを実施しました。また、CDC の他のプログラムや CCCB が資金提供する構想に似たプログラムを扱う非政府機関が作成した、既存の評価資料のレビューも行いました。資料のレビューは、ツールキットで取り上げられる重要な概念を特定する上で役立ちました。このツールキットで提供される情報の大部分は、CDC の以下の 3 つの資料、すなわち「CDC's Introduction to Program Evaluation for Public Health Programs: A Self-Study Guide」、「CDC Division of Tuberculosis Elimination's Guide to Developing a Tuberculosis Program Evaluation Plan」、および「CDC Division for Heart Disease and Stroke Prevention's Evaluation Guides」から転用したものです。

#### ツールキットの作成

- 被交付者の評価計画のレビューを実施
- 既存評価資料のレビューを実施
- 利害関係者の参加
- 「CDC Framework for Program Evaluation in Public Health」を転用
- CCCB プログラムのための評価手引書に合わせて調整
- 被交付者によるツールキットの試験を実施

A

A-1

私たちのレビューに加えて、2つの利害関係グループがこのツールキット作成に情報を提供しました。

1. **CDC コア・ワークグループ**には、CCCB のプログラム・コンサルタントと評価チームのスタッフ、ならびにツールキット作成を指導するために契約された RTI International からの評価者が参加しました。
2. **プログラム諮問グループ**には、CCCB の資金援助を受ける3つのプログラム、包括的がん対策 (Comprehensive Cancer Control) プログラム、Hematologics プログラム、および National Organizations プログラムからのボランティア評価者が参加しました。

利害関係グループの助言に基づいてツールキットを「CDC Framework for Program Evaluation in Public Health<sup>11</sup>」に合致するよう調整しました。双方の利害関係グループがツールキットの概要に関するアドバイスを提供し、ツールキットの草稿を校閲し、意見を提供しました。また、利害関係は、実際の CCCB 被交付者の経験と要件に合わせて評価の重要な概念と段階の説明を手直しする際の援助にも貢献しました。このツールキットの作成に貢献した利害関係者の完全なリストを以下に示します。

### **CDC-RTI コア・ワークグループ**

#### **疾病管理予防センター (Centers for Disease Control and Prevention, CDC)**

Phyllis Rochester、管理指導者  
Angela Moore、プロジェクト指導者  
Jamila Fonseca、Task Order Technical Monitor  
Garry Lowry  
Tammy Shropshire  
Mary Boyd  
Julie Townsend  
Brooke Steele  
Susan Derrick  
Chris Stockmyer

#### **Research Triangle Institute International (RTI)**

LaShawn Curtis  
Cindy Soloe  
Andrew Jessup  
Justin Faerber  
Debra Holden

**A**

**A-2**

<sup>11</sup> Centers for Disease Control and Prevention. (1999). Framework for program evaluation in public health. Atlanta, GA: MMWR, 48(NoRR-11), 1-40.

## プログラム諮問グループ

### 包括的がん対策プログラム代表(703)

Va'a Tofaeono、米領サモア  
Robert Indian、オハイオ州  
Sara Cook、カリフォルニア州  
Kim Rogers、ワイオミング州  
Gina O'Sullivan、ニューヨーク州  
Karen Bugler、ニューハンプシャー州  
Cathleen Jernigan、サウスカロライナ州  
Cerina Mariano、グアム  
Catherine Marshall、フォンジュラック  
Leah Frerichs、Aberdeen Area Tribal Chairman's Health Board  
Polly Hager、ミシガン州  
Jennifer Redmond、ケンタッキー州  
Barbara Portzline、ニューメキシコ州

### *National Health Organization Strategies to Provide Information and Education for Cancer Survivors with respect to Hematologic Cancers* プログラム代表

Kari Bailey、全米骨髄バンク (National Marrow Donor Program)

### *National Organization Activities for Cancer Control in Underserved Populations* プログラム代表

Ruth Rechis-Oelker、ランス・アームストロング財団 (Lance Armstrong Foundation)  
Octavia Vogel、米国癌協会 (American Cancer Society)  
Roxanna Baitsta、アジア・太平洋諸島系アメリカ人健康フォーラム (Asian and Pacific Islander American Health Forum)  
Angela Johnson、My Brother's Keeper

A

A-3

## 付録 B： 評価計画テンプレート

### 評価利害関係者と、関係する主要利用者



- I. 利害関係者の特定：(1) 評価に利害関係があり、かつ (2) 評価結果を利用する、主な個人または団体を列挙して下さい。評価に関する各利害関係者の興味の対象を明らかにして下さい。

評価利害関係者	利害関係者が知りたい点

B

B-1



- II. 利害関係者の参加：上に列挙した各利害関係者について、あなたのプログラム評価において、いつ、どのように連携できるかを述べて下さい。利害関係者の専門分野、興味の対象および参加可能であることを必ず考慮して下さい。

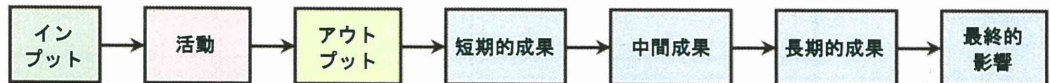
評価利害関係者	利害関係者とどのように連携するか	利害関係者といつ連携する

B

## プログラムの背景と説明



- I. 包括的がん対策（CCC）プログラムの重要な構成要素：あなたのプログラムのロジックモデルの写しを挿入するか、またはあなたのプログラムのリソース、主要活動、およびプログラム活動の予想されるアウトプットと成果を、表および／または記述式で説明して下さい。



- II. 進展段階：あなたのプログラムの進展段階について、簡単に説明して下さい。

- 完了した主要な活動、現在取り組み中の活動、そしてまだ開始していない活動は？

- III. プログラムの内容：あなたの CCC 活動の成功に影響する可能性があるプログラム独自の内容について、簡単に説明して下さい。

- あなたの CCC 活動に影響がある歴史的、政治的なプログラムまたは団体、および地域社会的要因は何ですか？またどのように影響を与えますか？

B

B-3

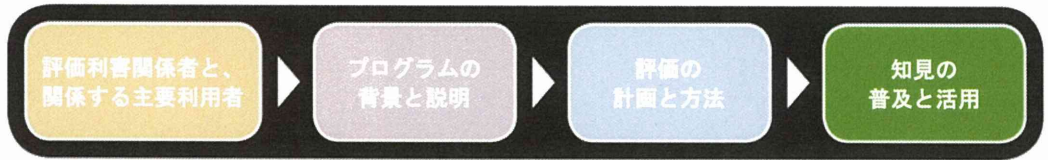
## 評価の計画と方法



### IV. 評価の計画と方法用マトリックス

焦点	評価課題	指標	データ収集源	データ収集方法	データ収集時期	データ解析
評価を行う CCC の構成要素	明らかにしたい点	評価課題に取り組むために必要なデータの種類	どこでデータを手に入るか	どのようにデータを手に入るか	いつデータを手に入るか	データをどのようにまとめ、解釈するか

## 知見の普及と活用



### I. 効果的な評価報告書作成のためのチェックリスト<sup>12</sup>

- 対象とする利用者が使用するのに間に合うように、中間報告書と最終報告書を提供する。
- 情報の受け手を関与させることで、報告書の内容、形式、およびスタイルが情報の受け手に合うように調整する。
- 要旨を含める。
- 利害関係者の特徴と連携手段の概要を示す。
- プログラムの骨子を（例えば付録に）記載する。
- 評価の焦点とその制約について説明する。
- 評価計画と手順の十分な要約を含める。
- 必要な全ての技術的情報を（例えば付録に）提供する。
- 評価判断のための標準と基準を明記する。
- 評価判断とどのように証拠に裏付けられているかを説明する。
- 評価の長所と欠点の両方を列挙する。
- 活動のメリットとデメリット、および資料の解釈と共に提言について話し合う。
- プログラムのクライアントおよびその他の利害関係者に対する保護を確保する。
- この知見によって人々や組織がどのような影響を受ける可能性があるかを予想する。
- 必要があれば、少数からの意見または返答を提示する。
- 報告書が正確で公平であるかを検証する。
- 報告書を論理的に整理し、適切な詳細を含める。
- 専門用語を排除する。
- 実例、イラスト、グラフ、および記事を使用する。

B



B-5

<sup>12</sup> Adapted from Worthen, B. R., Sanders, J. R., & Fitzpatrick, J. L. (1997). Program evaluation: Alternative approaches and practical guidelines (2nd edition). New York, NY: Addison, Wesley Logman, Inc

## II. 普及手段用マトリクス

情報の受け手	知見共有のための形式と手段	予定表	責任者

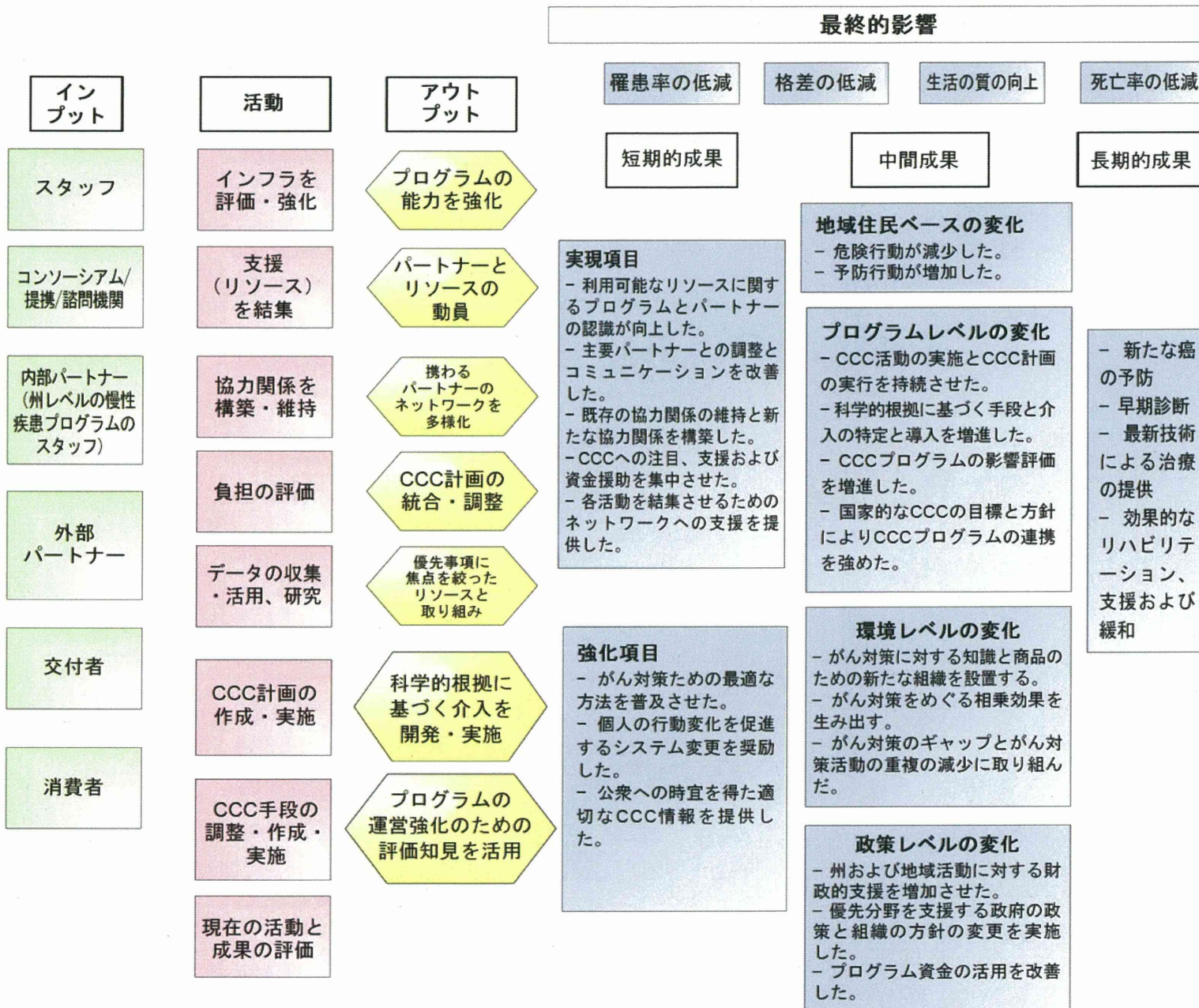
## III. 評価結果の活用実現のためのチェックリスト

- 利害関係者の会合で結果を共有し、話し合う。
- プログラム改善のための提言の優先順位付けについて、利害関係者と話し合う。
- プログラム改善のための提言の運用実施について、利害関係者と話し合う。
- 利害関係者の組織業務または CCC に関連する介入の向上のために、利害関係者が評価知見を適用可能な方法を話し合う。
- 評価結果と話し合いの要点を利害関係者の会合記録に含める。
- 評価知見と提言をスタッフの定期会合で再検討する。
- スタッフメンバーが提言を実行できる対策方法を確認する。
- 改善提言の実行のために活動を調整、記録、監督するプログラムのスタッフメンバーを確認する。

**付録 C :**  
**ロジックモデルの例**

C

C-1



**このプログラム評価ツールキットは**

**Comprehensive Cancer Control  
Branch Program Evaluation  
Toolkit June 2010 (CDC)**

**を国立保健医療科学院疫学部が翻訳したものです。**



### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

#### 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
H Fukuda, H Imai.	Cost Effectiveness Analysis of Liver Transplantation.	Benjamin J. Valverde	Liver Cancer: Causes, Diagnosis and Treatment.	Nova Science Publishers, INC.	アメリカ	2011	195-221

#### 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
助友 裕子	わが国におけるがん死亡・罹患の現状とがん対策の動向ーがん対策に関わる身体活動の可能性ー	体育の科学	62 (2)	86-90	2012
渡邊清高	試作版が完成！がん「患者必携」～患者の求める情報を網羅したガイドとは	がん患者ケア	3	1-6	2009
渡邊清高	「海外留学生だより」豪州短期研修記	GI Research	17	60-64	2009
渡邊清高	癌の疫学・早期発見の意義 早期の癌の画像診断	画像診断	29	962-968	2009
渡邊清高, 土屋了介	医師後期臨床研修のあり方と病院の役割 特集 今後の医師養成と病院	病院	69	1010-1014	2009
小坂 健	我が国のがん予防戦略の課題と展望	公衆衛生	73	932-936	2009
福田吉治, 助友裕子, 片野田耕太, 中尾裕之, 八幡裕一郎, 祖父江友孝, 今井博久.	都道府県がん対策推進計画における死亡統計の活用: 地域診断は年齢調整死亡率を用いて適切に行われているか?	保健医療科学	54	136-140	2009

